

寄附研究部門

ニトリみらい 社会デザイン 講座

NITORI Designing Future
Society Course



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

ニトリ
NITORI

設立背景

現在、超スマート社会－Society5.0－の実現に向けて技術基盤の強化及び人財育成が急務となっている。

この社会的要請に応えるべく北海道大学・札幌市・株式会社ニトリホールディングス（以下、ニトリ）の3者は地域社会の課題をデータの力で解決し、みらいの社会を創造できる高度IT人財の育成を目指して令和元年7月24日に連携協定を締結した。

さらに、令和3年3月25日には、北海道もこの連携協定に加わり、北海道・札幌の未来を担うIT人材の育成事業をさらに加速させている。

この取り組みの一環として、令和元年8月に北海道大学にニトリによる寄付講座「ニトリみらい社会デザイン講座」を開講。

令和5年2月からはこの講座を数理・データサイエンス教育研究センター（MDSセンター）からデータ駆動型融合研究創発拠点（D-RED）の先端融合研究推進部門に移設して、より一層社会ニーズに合った人材の輩出や世界レベルの研究成果の創出が出来るように取り組んでいる。

四者連携協定の協定項目

四者連携協定の協定項目

- 1) データ駆動型の
新しい社会デザインに資する研究の推進
- 2) 大学・大学院におけるデータサイエンス等の
高度情報科学分野の人財育成
- 3) 小中学生、高校生など
若年層に向けたIT人財育成

ITを活用して
地域課題を
解決できる人財 『みらいIT人財』の育成



寄附講座の主な活動内容

寄附講座が先端研究と 産学官地域連携型人財育成を推進

- 1) 産学官地域が保有するデータの
最先端研究への活用を通じた人財育成
- 2) ニトリとの協働による講義やセミナーの実施
- 3) 地域と強力に連携した若年層の人財育成
- 4) 地方創生に資するリカレント教育の実施



連携協定締結式の様子（2021.3.25）

挑戦型研究

令和元年度からニトリより社員1名を本講座の客員研究員として受け入れ、高度IT人材育成を行っている。

ニトリの実店舗を実験現場として活用し新たなライフデザインの提案に資する最先端研究に従事することを通して、実践的な人材育成を実施している。

その成果として、2021年12月、2022年12月に本研究に関する特許出願を北海道大学とニトリの共同で行い、最先端研究の実社会への展開促進の基礎作りを行った。

また、2023年1月に開催された画像処理分野の国際会議International Workshop on Advanced Image Technology (IWAIT 2023)にて、本研究に関する論文発表を行い、Best Paper Awardを受賞している。

現在は、さらなる高度化を目指して研究を進めており、企業における高度IT人材の継続性の実現に向けて前進している。



IWAIT 2023授賞式の様子



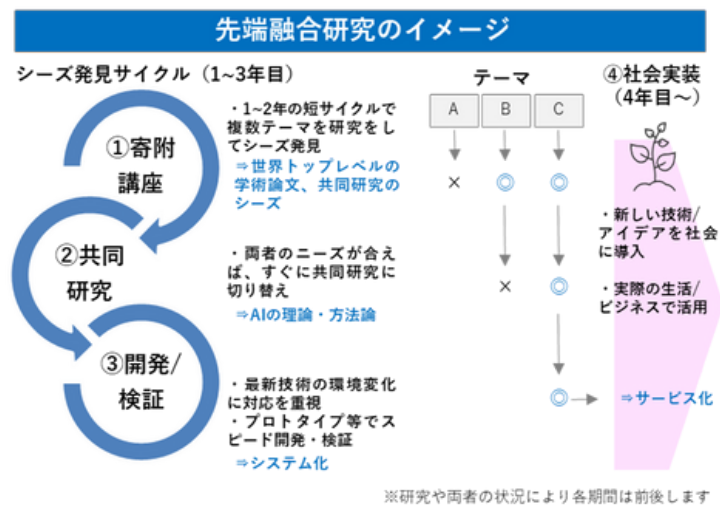
挑戦型研究のイメージ

先端融合研究

令和5年度から新たに「先端融合研究」を始動している。

従来の研究は1つのテーマを複数年かけて研究し、成果が出れば社会実装することが主流であるが、ニーズや環境の変化への対応に弱く社会実装までに時間を要することが課題となっていた。

先端融合研究では短サイクルで複数テーマを同時に進めることで、最新技術や市場ニーズの変化に柔軟に対応し、社会実装までのスピードアップを目指している。



先端融合研究のキックオフミーティングの様子

【お問い合わせ先】

国立大学法人 北海道大学
創成研究機構 データ駆動型融合研究創発拠点 (D-RED)
E-mail : d-red_soumu@research.hokudai.ac.jp



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

